



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

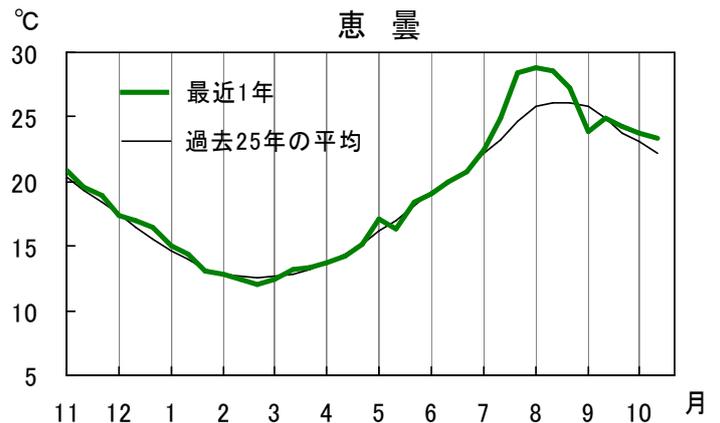
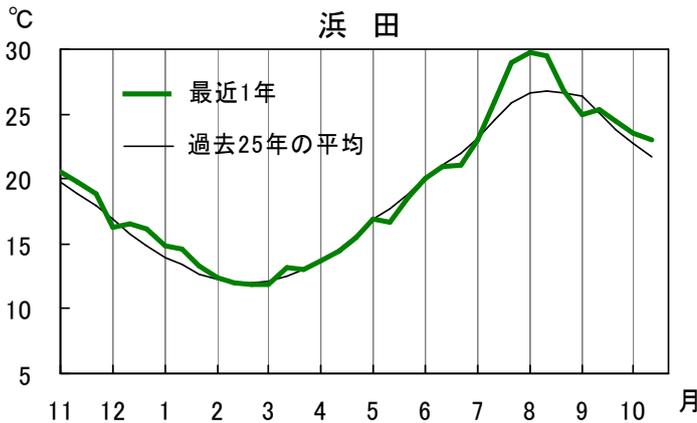
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《9-10月の海況》

9月	月平均	平年差	評価
浜田	24.9℃	-0.1℃	平年並み
恵曇	24.3℃	-0.5℃	平年並み

沿岸定地水温は、浜田、恵曇とも、9月上旬は降温が顕著でやや低めでしたが、9月中旬以降は平年並みとなりました。10月は中旬現在では、浜田・恵曇ともかなり高めとなっています。



《 9月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田地区はマアジ、サバ類主体の漁獲で、マアジの漁獲量は平年の7割と不調でしたが、サバ類のそれは平年の2.6倍と好調でした。西郷地区はマアジ、ブリ、ウルメイワシ主体の漁獲で、どの魚種の漁獲量も平年の1.4~1.7倍と好調でしたが、例年この時期に漁獲の主体に加わるサバ類(平年の1割)、カタクチイワシ(皆無)は不調でした。浦郷地区は、マアジ、ブリ、サバ類主体の漁獲で、ブリの漁獲量は平年の4倍と好調でしたが、サバ類のそれは平年の3割と不調でした。漁獲金額は、浜田地区では平年の約8割でしたが、西郷地区および浦郷地区ではそれぞれ平年の1.3倍および1.4倍でした。

【イカ釣漁業】

浜田港(属地5トン以上)ではケンサキイカ主体の漁獲で、1隻1航海当たりの漁獲量は平年の1.7倍と好調でした。西郷港(属人5トン以上)ではケンサキイカ主体の漁獲で、1隻1航海当たりの漁獲量は平年の6割と不調でした。なお、西郷地区ではソデイカも漁獲されており、その漁獲量は平年の2倍となっています。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではムシガレイ、ケンサキイカ主体の漁獲で、1統1航海当たり漁獲量は、前年を6%、平年(過去10年平均)を27%上回り、好調に推移しました。特に近年低調であったケンサキイカは平年の1.6倍の水揚げがあり、1統1航海当たり漁獲量では平成12年以来久しぶりに2トンを超える水揚げがありました。

【小型底びき網漁業】

久手地区ではニギス、和江地区ではアンコウ、ケンサキイカ、キダイ、ムシガレイ主体の漁獲でした。両地区とも総漁獲量、1隻1航海当たりの漁獲量は前年を9~20%下回りました。特にアンコウ、メイタガレイの漁獲が前年同月に比べ大きく下回りました。

【定置網漁業】

石見地区では主要漁獲物のマアジは平年並みの漁獲でしたが、サバ類が平年の3倍、ブリが2.5倍と多く獲れ、全体では平年の1.6倍の漁獲量となりました。出雲地区では主要漁獲物のマアジが平年の1.3倍、ブリが2.1倍、サバ類が1.8倍、シイラが3倍で、全体では平年の1.3倍の漁獲量となりました。隠岐地区では主要漁獲物のブリが平年の2.6倍、マアジが平年の1.3倍、ウルメイワシが3.3倍、サバ類が平年の5割で、全体の漁獲量は平年の1.2倍でした。

【釣・縄】

石見地区ではケンサキイカなどが漁獲され、漁獲量は平年の1.4倍でした。出雲地区ではケンサキイカ、アマダイ、マダイなどが漁獲され、漁獲量は平年並みでした。隠岐地区ではケンサキイカ、クロマグロなどが漁獲され、漁獲量は平年の1.4倍でした。

【平成 20 年 9 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ、サバ類	147トン	88%	79%	5.4トン	82%	84%	▲
	西郷	マアジ、ブリ、ウルメイワシ	2,692トン	98%	113%	32.1トン	83%	105%	○
	浦郷	マアジ、ブリ、サバ類	2,019トン	88%	97%	28.0トン	71%	88%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	248トン	220%	179%	430 kg	193%	169%	◎
	西郷	ケンサキイカ	22トン	93%	48%	101 kg	98%	59%	▲
沖合 底びき網	浜田	ムシガレイ、ケンサキイカ	336トン	111%	98%	14.0トン	106%	127%	◎
小型 底びき網	久手	ニギス	222トン	84%	102%	686 kg	91%	101%	○
	和江	アンコウ、ケンサキイカ、キダイ、ムシガレイ	273トン	80%	95%	634 kg	85%	92%	▲
定置網 (大型)	浜田	マアジ、サワラ、サバ類、ブリ	40トン	179%	165%	880 kg	99%	101%	○
	美保関	ブリ、マアジ、シイラ	124トン	256%	143%	1,270 kg	84%	119%	○
	浦郷	ウルメイワシ、ブリ、サワラ	19トン	241%	147%	648 kg	108%	92%	○
釣り・縄	仁摩	ケンサキイカ、メダイ	31トン	160%	151%	49 kg	123%	110%	◎
	大社	ケンサキイカ、ブリ	11トン	106%	107%	20 kg	100%	85%	○
	西郷	ケンサキイカ、ソデイカ、クロマグロ	19トン	131%	107%	41 kg	118%	119%	◎

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下



大型クラゲ情報

10月中旬現在、エチゼンクラゲは沖合底びき網でわずかに目視例や入網例があるだけで、依然極めて少ない状況です。